

1. 目的

COVID-19 予防と早期対応に向けて、個々が自律して適切な保健行動をとる。

- ・毎日、健康状態をセルフチェックする。
- ・感染兆候に気づき、自宅待機や受診等の行動に繋げる。
- ・教員(チューター)への相談、医療機関への受診の際、説明資料として用いる。
- ・臨地実習の際、実習施設への説明資料として用いる。
- ・罹患者が発生した場合、感染ルートの追跡調査のデータとして活用する。

2. 方法

1) 毎日、登校前、体温測定を行う。

2) 毎日記録をつける。

(1) 行動記録等…講義演習、実習、部活、アルバイト、食事会、ドライブなど、プライベートな活動も含めて記録する。

…同居者や接触者で体調不良な人がいる場合、記載しておく。

(2) 体温………1)の結果を記載する。

(3) 自覚症状……該当箇所にチェックする。

(4) 医療機関受診の有無…医療機関名、診断、治療について記載する。

3) 記録は、手書き、パソコン入力、どちらでもよい。

4) 記録の管理は、個人で行う。

5) 記録実施の有無の確認のため、月初め、記録用紙を看護学部棟の事務のボックスへ提出する。

(教員が学生の行動をチェックするものではない。)

記録内容は、個人情報として扱い、提出された記録用紙を後日、本人に返却する。

3. 使用対象

- ・看護学部生
- ・看護学部教員

4. 実施期間

・2020年4月～

・8～9月頃に実施期間の延長・中止等について、COVID-19の感染状況に応じて判断する。

5. 健康管理記録に関する問い合わせ先

- ・学生委員会:(学生主任 大瀬)(健康管理担当 川村)

6. 発熱や呼吸器症状(咳・鼻水・咽頭痛等)、味覚・嗅覚異常等がある場合

【届け先】 平日の場合: 学生委員会(学生主任 大瀬)(健康管理担当 川村)